科目名	数学・物理学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Mathematics･Physics			総時間数	46	単　位	3
学　年	1	学　期	後期	曜　日	火水木金	時　限	1･2･3･4

担当教員	中村 薫平	実務者経験	2020.4-関西学院大学　講師

学習内容	公務員採用試験に対応できるための、数学分野及び理科(物理)分野の基礎について、その理解を進める。
到達目標	高校までの数学を復習しながら公務員(就職)試験に合格するレベルの理解が出来る。

準備学習 時間外学習	講義終了後の復習は各自で必要
使用教材	TAC数学・数的推理 、プリント資料等
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		公務員採用試験 概要	公務員採用試験に向けての学習の進め方
2		ガイダンス	問題の出題傾向等に関する説明等
3		整式の計算	式の項、係数、次数、同類項、式の整理等に関する説明 同範囲のテキスト演習問題の解説および演習解説
4		乗法公式	多項式の展開、乗法公式の利用 同範囲のテキスト演習問題の解説および演習解説
5		因数分解	共通因数、因数分解の公式利用、複雑な因数分解 同範囲のテキスト演習問題の解説および演習解説
6		平方根の性質	平方根の基本性質
7		有理化、計算	有理数と無理数、分母の有理化等 基本的な計算問題演習と解説
8		平方根を含む総合計算問題、二重根号	分母の有理化を伴う計算問題、 二重根号のはずしかた等
9		連立方程式、二次方程式①	連立方程式の解法 二次方程式の解法：因数分解、解の公式利用等
10		〃	〃
11		連立方程式、二次方程式②	同　文章問題への利用 同範囲の演習問題の解説および演習解説
12		〃	〃
13		一次関数とグラフ	グラフの傾き、切片、方程式との関係等 同範囲のテキスト演習問題の解説および演習解説
14		〃	〃
15		二次関数とグラフ	基本形、一般形、標準形の特徴と性質 方程式との関係等
16		〃	〃
17		関数とグラフの利用	判別式の利用とχ軸との交点について 解の公式と虚数についての説明
18		〃	〃
19		二次関数の最大・最小値	二次関数の最大・最小値 定義域のある場合の最大値、最小値の求め方等
20		加速度運動 物体の落下運動	加速度運動と物体の移動距離等 自然落下運動、水平投射、上方投射
21		電気回路	オームの法則の利用 回路中の全抵抗、全電流、部分電圧等の求め方等
22		全体のまとめ	練習問題の実施と解説
23		終講時試験	

科目名	生物学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Biology			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	前期	曜　日	水	時　限	3･4

担当教員	井上　努	実務者経験	

学習内容	公務員・社会人として求められる一般知識が習得できる。
到達目標	公務員試験の生物分野で出題される内容を習得し、公務員試験が解けるようになる。

準備学習 時間外学習	配布されたプリントについて、事前に目を通しておく。
使用教材	プリント配布
留意点 備　考	

成績評価	筆記試験で評価する。

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		細胞	細胞小器官の構造、はたらきについて学習する。 細胞の構造に関する専門用語を理解し、説明できる。
2		細胞	細胞小器官の構造、はたらきについて学習する。 細胞の構造に関する専門用語を理解し、説明できる。
3		光合成	植物の葉緑体の特徴、光合成のしくみについて学習する。 光合成に関する専門用語を理解し、説明できる。
4		光合成	植物の葉緑体の特徴、光合成のしくみについて学習する。 光合成に関する専門用語を理解し、説明できる。
5		血液	血液の組成、循環について学習する。 血液に関する専門用語を理解し、説明できる。
6		血液	血液の組成、循環について学習する。 血液に関する専門用語を理解し、説明できる。
7		恒常性 （ホメオスタシス）	神経系、ホルモンについて学習する。 恒常性に関する専門用語を理解し、説明できる。
8		試験	試験

科目名	文章読解(国語・英語)			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Reading Comprehension			総時間数	16	単 位	1
学 年	1	学 期	後期	曜 日	木	時 限	3･4

担当教員	南 雅子	実務者経験	1989年より医療系専門学校にて医療英語指導/医師、看護師、薬剤師、理学療法士などへの英語指導/予備校において教養科目の試験対策分析および指導。

学習内容	公務員、社会人として求められる一般知識の養成を通して基礎学力をつけていき、さまざまな文章読解問題を解きながら、その解説授業の中で力をつけていく。
到達目標	文章読解問題に対応できる基礎力をしっかりつけた上で、多くの問題を解き問題解法のために知っておきたい大切な知識をつけていくようにする。

準備学習 時間外学習	一般教養問題を理解していくために、各自がこれまでの言語の基礎知識を見直すことが望ましい。
使用教材	プリント教材
留意点 備 考	基礎知識のための配布資料などを各自まとめていくことを勧める。

成績評価	終講義試験

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		文章読解１	文章読解問題/文法問題/一般常識問題/四字熟語(1)/英語長文問題 公務員教養試験における文章読解分野の概要をつかむことを目標とする。
2		文章読解２	現代文(内容把握問題)/四字熟語(2)/頻出英単語(国際情勢)/掲示表現/就職教養英語問題 現代文内容把握問題および英語の教養問題に慣れることを目標とする。
3		文章読解３	現代文(空所補充)/漢字問題/四字熟語(3)/英語長文問題/頻出英単語(環境問題)/英語ことわざ 現代文空所補充問題の練習、基礎的な言語問題を理解することを目標とする。
4		文章読解４	現代文(整序問題)/よく使う表現/言語能力試験/英会話問題/頻出英単語(福祉など)/英文法 現代文整序問題の練習、英会話に関連する英語問題に慣れることを目標とする。
5		文章読解５	総合演習問題(内容把握、整序問題、空所補充、漢字、文法,英語長文)/英語空所補充 総合問題を解くことにより、問題全体を把握して取り組むことができることを目標とする。
6		文章読解６	国語文法(助詞、助動詞、接続詞)/現代文(内容一致)/グループワーク(英会話表現練習) 発表練習をグループですることにより、英会話の様々な表現を学ぶことを目標とする。
7		文章読解７	総合演習問題(内容把握、整序問題、空所補充、漢字、文法,英語長文)/TOEICの英語問題 総合問題を解くことにより、問題全体に取り組むことができることを目標とする。
8		文章読解８	SPIの問題/漢字一対義語、同音異義語/敬語、謙譲語/英文法-空所補充 言語の基礎知識の見直しをすることにより、知識の定着を目標とする。
9		文章読解９	文章読解/漢字問題/四字熟語/敬語、謙譲語/頻出英単語/英語空所補充 試験対策学習をおこなうことにより、これまで学んだ基礎知識の定着を目標とする。
10		文章読解１０	文章読解試験/試験終了後問題の解説 試験後の問題解説を一緒に行うことで、重要ポイントの見直しと知識の定着を目標とする。

科目名	教育学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Pedagogy			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	前期	曜　日	火	時　限	1･2

担当教員	森　由香	実務者経験	2002年10月～2005年3月　大阪市立総合生涯学習センターにおいて生涯学習の専門職員（非常勤）として、人権教育に関する事業の企画・運営に従事 2017年3月より特定非営利活動法人とよなかESDネットワークに所属し、市民、児童・生徒を対象とした授業などでワークショップを中心とする講座の講師・ファシリテーターを務める

学習内容	教育の原理ならびに人間形成における教育の機能について学ぶ。特に、人権尊重の視点から、教育の基本理念や現代的課題等を具体的な事例やグループワークによって理解する。
到達目標	教育の原理を基礎知識として人間形成における教育の機能を理解できること。 現代の教育の理念や現状、しくみなどを学習することを通して、社会について知り、また自分自身が社会の一員であるという自覚を持って行動できるようになることを目指す。

準備学習 時間外学習	予習については、ニュースなどから、普段社会で起きていることに目を向けることが必要となる。復習は授業で配布するプリントを熟読し、わからない言葉を調べたり、自身の経験と結びつけるなど、内容の理解に努めること。
使用教材	教科書は指定しない。毎回プリントを配布する。必要に応じて視聴覚教材を使用する。
留意点 備　考	グループワーク等の際には積極的に発言すること。

成績評価	終講義試験

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		教育学1	教育学の基本的な考え方 現代の教育における基本理念について理解する。
		教育学2	教育を受ける権利① 基本的人権の概念ならびに歴史について学ぶ。
2		教育学3	教育を受ける権利② 教育を受ける権利の考え方や教育制度と社会について整理する。
		教育学4	教育を受ける権利③ 社会における教育の意味や、教育機会の保障の方法等について考察する。
3		教育学5	教育を受ける権利④ 義務教育制度の意義・目的や問題点等について考える。
		教育学6	人間形成と教育① 人間形成の過程と社会的な価値観等を男女共同参画社会の切り口から整理する。
4		教育学7	人間形成と教育② 教育や制度におけるジェンダー格差や影響について学ぶ。
		教育学8	性と生殖、健康に関する権利① 成長に伴う心身の変化について、性や生殖に焦点を当てて考察する。
5		教育学9	性と生殖、健康に関する権利② 性に関する自己決定権ならびに、人間関係における性的同意について学ぶ。
		教育学10	労働・職業と教育① 社会における労働・職業の考え方について整理する。
6		教育学11	労働・職業と教育② 憲法で保障されている職業選択の自由と労働権について学ぶ。
		教育学12	労働・職業と教育③ 職場における理不尽な要求や取扱い等の人権侵害の現状を考察する。
7		教育学13	労働・職業と教育 職業観や労働権を学ぶために必要な教育内容について検討する。
		教育学14	全体まとめ 教育学の講義全体を概観し、まとめる。
7.5		試験	期末試験

科目名	心理学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Psychology			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	月	時　限	3･4

担当教員	内藤　みなみ	実務者経験	臨床心理士・公認心理士として、クリニック・大阪府立学校スクールカウンセラーとして勤務の後、大学にて学生相談センターで業務に就かれている。

学習内容	心理学に関する基礎的な事項について学ぶ。また、適宜、体験的ワークに取り組む。
到達目標	心理学に関する基礎的知識を獲得し、臨床現場や日常生活における出来事を心理学的視点から捉えることができる。 また、体験的な取り組みを通して、心理学的事象や自己についての理解を深める。

準備学習 時間外学習	知識的な内容について復習する。また、授業内で行った体験について振り返る。
使用教材	配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	期末テスト100点で評価する。

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		心理学の概要	概要【心理学の歴史・心理学の諸領域】 心理学の歴史やその領域について理解し、心理学の概観をつかむ。
2		学習・記憶	学習心理学・認知心理学【学習・記憶・認知・行動・条件づけ・動機づけ】 学習や行動について理解する。また、認知や行動に着目し、その変化について理解する。
3		集団・社会	社会心理学【集団・社会・同調・認知的不協和・認知的均衡】 集団や社会における現象について、社会心理学的視点から理解する。
4		人格・発達	人格心理学・発達心理学【パーソナリティ・生涯発達】 パーソナリティの捉え方や生涯発達における各発達段階の特徴について理解する。
5		臨床・援助	臨床心理学【精神分析学・行動主義心理学・人間性心理学】 臨床心理学における多様な立場について理解する。
6		ストレス マネジメント	ストレスマネジメント【ストレス・コーピング・リラクセーション】 ストレスに対するマネジメントやコーピングについて具体的に学ぶ。
7		まとめ	振り返り
8		試験	期末試験

科目名	法と倫理			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Law & Ethics			総時間数	30	単　位	2
学　年	1	学　期	前期	曜　日	木	時　限	1･2

担当教員	中村 薫平	実務者経験	2020.4-関西学院大学　講師

学習内容	「法と倫理」と題する本講においては、法の分野では法規範についての一般的理解ならびに日本国憲法における基本的人権の概要について、倫理の分野では近代市民社会および自然権思想の成立過程における思想的背景について、それぞれ講じる.　また、受講生は、各種資格試験の突破ならびに将来の業務遂行および学習のために必須である基本的な文章作成/読解訓練も行う。
到達目標	上記の学習内容について、地方公務員消防職採用試験(初級程度)に合格できる水準の知識の獲得を目標とする。

準備学習 時間外学習	下記の参考書および授業配布資料ならびに自作ノートを講義の事前事後に読了することで、理解度を飛躍的に高めることができる.また、講義の前後あるいは講義中を問わず、質問は常に歓迎される。
使用教材	東京アカデミー[編],　『オープセサミシリーズ 国家公務員・地方初級 ①政治・経済・社会』, 七賢出版株式会社. ・授業配布資料
留意点 備　考	本講は、特定の思想的・政治的態度を受講生に強要するものではない。但し、政治に言及する者は、どのような場合であっても彼自身の政治的態度の表明を避けることはできない。その一方で、諸君が将来受験する試験は、国民国家の行政機関によって作成された適格者の選別試験である。したがって、教員は諸君の公務員試験への対策という目的に適うように、現在の日本国政府において支配的な思想的・政治的立場に基づいて講義を行うことに留意されたい。

成績評価	成績評価は、第15回で実施される筆記試験によって行われる。

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		法と倫理1	【「国のかたち」と憲法】 近代成文憲法についての基本的理解を得る。
2		法と倫理2	【法規範の類型と段階】 法規範の種類と段階についての基本的理解を得る。
3		法と倫理3	【統治の類型と民主制】 統治の類型と民主制の特徴について、基本的な用語を用いながら説明できる。
4		法と倫理4	【自然権思想と社会契約論】 自然権思想と社会契約論について代表的な思想家の著作と関連づけて説明できる。
5		法と倫理5	【日本国憲法の基本原理】 日本国憲法の基本原理について、基本的な用語を用いながら説明できる。
6		法と倫理6	【日本国憲法における基本的人権】 日本国憲法が保障する基本的人権の類型と概要について説明できる。
7		法と倫理7	【日本国憲法における自由権】 日本国憲法における自由権についての基本的理解を得る。
8		法と倫理8	【日本国憲法における社会権】 日本国憲法における社会権についての基本的理解を得る。
9		法と倫理9	【日本国憲法における平等権・参政権】 日本国憲法における平等権・参政権についての基本的理解を得る。
10		法と倫理10	【日本国憲法における請求権(受益権)と新しい人権】 日本国憲法における請求権(受益権)と新しい人権についての基本的理解を得る。
11		法と倫理11	【日本国憲法における統治機構】 三権分立とその仕組みについて、それらの類型と概要について説明できる。
12		法と倫理12	【日本国憲法における地方自治と憲法改正】 日本国憲法における地方自治と憲法改正について、それぞれの基本的理解を得る。
13		法と倫理13	【代表制と民主制】 代表制と民主制について、その概要を説明できる。
14		法と倫理14	【練習問題への挑戦】 これまでの講義を振返り、過去問や模擬試験から構成された練習問題に挑戦する。
15		試験	試験は、全問択一式の記号問題で出題される。

科目名	地理・歴史			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Geography & History			総時間数	32	単　位	2
学　年	1	学　期	通年	曜　日	水	時　限	3･4

担当教員	大澤 裕司	実務者経験	

学習内容	高校社会科レベルの地理歴史の習熟度を再確認し、偏りのない学力をつけるための演習も毎回行う。
到達目標	地理歴史分野の初級公務員試験に対応できる基礎学力を習得する

準備学習 時間外学習	次回テーマの箇所を通読しておくことと、練習問題は各自で解いて弱点を自己診断しておくこと
使用教材	オープンセサミ『国家Ⅲ種・地方初級公務員　日本史・世界史・地理』
留意点 備　考	特記なし

成績評価	前期・後期終講義試験

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		オリエンテーション、基礎知識確認演習	日本と世界の２０世紀現代史
2		〃	〃
3		近代日本史・世界史	江戸時代～明治維新、西欧宗教改革～市民革命
4		〃	〃
5		中世日本史・世界史	武家政権（鎌倉時代～室町時代）、ルネサンス～大航海時代～宗教改革
6		〃	〃
7		古代日本史、古代地中海世界	貴族政権（奈良～平安時代）、ギリシア・ローマ時代～西ヨーロッパ分裂
8		前期終講義試験	
9		オリエンテーション、自然地理	気候の３因子と３要素、ケッペンの気候区分とハイサーグラフ、地形
10		〃	〃
11		社会地理	国家の要素、人種と民族、人口問題
12		〃	〃
13		社会地理	産業の分布（工業地帯、農業）
14		〃	〃
15		社会地理まとめ	アジアと日本との関係（貿易、外交）
16		後期終講義試験	

科目名	政治・経済			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Politics & Economics			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	火水金	時　限	1･2

担当教員	中村 薫平	実務者経験	2020.4-関西学院大学　講師□

学習内容	「政治・経済」と題する本講においては、政治の分野では行政問題および国際関係論について、経済の分野では市場経済の基本的な仕組みについて、それぞれ講じる。 　また、受講生は、各種資格試験の突破ならびに将来の業務遂行および学習のために必須である基本的な文章作成/読解訓練も行う。
到達目標	上記の学習内容について、地方公務員消防職採用試験(初級程度)に合格できる水準の知識の獲得を目標とする。

準備学習 時間外学習	下記の参考書および授業配布資料ならびに自作ノートを講義の事前事後に読了することで、理解度を飛躍的に高めることができる。 また、講義の前後あるいは講義中を問わず、質問は常に歓迎される。
使用教材	・東京アカデミー[編], 2018, 『オープセサミシリーズ 国家公務員・地方初級 ①政治・経済・社会[2020年度]』, 七賢出版株式会社. ・授業配布資料
留意点 備　考	本講は、特定の思想的・政治的態度を受講生に強要するものではない。但し、政治に言及する者は、どのような場合であっても彼自身の政治的態度の表明を避けることはできない。その一方で、諸君が将来受験する試験は、国民国家の行政機関によって作成された適格者の選別試験である。したがって、教員は諸君の公務員試験への対策という目的に適うように、現在の日本国政府において支配的な思想的・政治的立場に基づいて講義を行うことに留意されたい。

成績評価	成績評価は、第7回で実施される筆記試験によって行われる。

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		政治・経済1	【選挙】 選挙制度の原則とその仕組みについて、基本的な用語を用いながら説明できる。
2		政治・経済2	【政党と圧力団体】 政党政治の仕組みと圧力団体についての基本的理解を得る。
3		政治・経済3	【行政問題】 行政権の肥大化やその問題点について、具体例を挙げながら説明できる。
4		政治・経済4	【国際政治】 国際社会の秩序と組織について、基本的な用語を用いながら説明できる。
5		政治・経済5	【「政治経済」1】 政治経済について著名な論者の著作名とともに基本的な理解を得る。
6		政治・経済6	【「政治経済」2】 政治経済について著名な論者の著作名とともに基本的な理解を得る。
7		政治・経済7	【市場経済の基礎】 需要と供給の法則・価格の自動調整作用についてグラフを読みながら理解できる。
8		政治・経済8	復習
9		政治・経済9	復習
10		試験	試験は、全問択一式の記号問題あるいは論述問題で出題される。

科目名	医療英語			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Medical English			総時間数	16	単　位	1
学　年	1年	学　期	前期	曜　日	木	時　限	

担当教員	南　雅子	実務者経験	1989年より医療系専門学校にて医療英語指導/ 医師、看護師、薬剤師、理学療法士、東洋医療治療し、スポーツ関係者への英語指導

学習内容	救急救命士としておさえておきたい基礎医療英語(症状名、バイタル、病院各科、身体名、内臓器官、組織、血液、神経、医療略語)の習得と、救急現場で必要な専門用語や救急対応に使う表現などを学ぶ。
到達目標	医療従事者を目指す上で知っておきたい基礎医療英語を習得した上で、救急救命におけるさまざまな英語表現などを使えるようにする。

準備学習 時間外学習	医療英語を学ぶ上での、医療や人体における基礎知識を医療や救急救命の授業できちんと習得しておくことが望ましい。
使用教材	教科書　『MEDICAL ENGLISH COMMUNICATION』(国際教育社)　　教材プリント
留意点 備　考	実際の救急救命現場で使えるさまざまな英語資料の提供と使いかたの実践も行う。

成績評価	現場で使う内容や用語の口頭による発表および試験の実施(状況により試験形式の検討あり)　前期末試験80%＋口頭試験20%で評価する

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		医療英語１	授業内容の解説/救急救命関連用語、フレーズ/感染症の最新英語/痛みについて/Ch.1,2 受付、病院各科
2		医療英語２	救急現場での用語、対応/Ch.3 人体の名称、痛みの種類/顔の名称/組織、骨、筋肉 救急救命の現場対応で知っておきたい表現を学び使えるようになることを目標とする。
3		医療英語３	救急救命-事故、災害時の対応/内科、外科問診票/Ch.4,5,6 症状、内臓器官、内科、問診 災害時や事故現場での対応表現及び症状名などを理解し使えるようになることを目標とする。
4		医療英語４	緊急時の対応/病院会話のヒント/Ch.7,8 身体測定、内科診察バイタルサイン/多言語問診票　　バイタルで使う用語と診療のための表現を使えるようになることを目標とする。
5		医療英語５	トリアージ/救急救命関連資料/Ch.11救急患者/救急時の対応英会話(リスニング) /Ch.17薬　　救急時の対応英会話のリスニング練習により現場の英語に慣れることを目標とする。
6		医療英語６	救急現場での対応/Ch.18カルテ/CPR,AEDに使える表現/緊急時の電話対応　　救急現場で使う英語の発話練習を目標とする
7		医療英語７	医療英語試験対策学習(救急救命/バイタル/症状/痛み/身体/内臓器官/医療略語/救急疾患)　　医療英単語、フレーズの口頭試験による発話機会と定着を目標とする。
8		医療英語８	医療英語試験

科目名	英会話			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	English Conversation			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	金	時　限	1･2

担当教員	ILC講師(ケビン・リュウジン)	実務者経験	英語教授資格を持ち、滋慶学園やその他教育機関において、基礎英語、また医療英語の教育に携わってきた。

学習内容	ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。
到達目標	意見を交換したり自分の考えを表現する場で、的確な英語の文法を使って会話をすることができるようになる。授業内でのスピーキング・リスニング練習を通して、国際的な環境で相手の話を理解したり自分の意図を伝えることができるようになる。

準備学習 時間外学習	授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。
使用教材	プリント配布
留意点 備　考	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加する。 基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問する。

成績評価	終講義試験

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		イントロダクション	オリエンテーションとクラスメイトの自己紹介
2		Be動詞を使った英会話	"Is…?"と "Are…?" 疑問文と答え・食べ物& 国籍に関する形容詞を学ぶ。
3		疑問系(5W1H)を使った英会話	"Where/What/Why…?"を使った疑問文と答え・スポーツに関する形容詞を学ぶ。
4		語彙と意見	likeとdislikeを使った自分の感情表現方法を学ぶ。
5		語彙と意見2	want toやpefer toを使用して趣味と余暇活動の計画についての表現を学ぶ。
6		語彙と意見3	How oftenを使った頻度を尋ねる表現を学ぶ。
7		復習	総まとめ
8		復習、学期末試験	終講義試験

科目名	保健・体育学Ⅰ			必修/選択	必修	授業形式	演習
【英】	Health & Physical Education			総時間数	32	単　位	1
学　年	1	学　期	通年	曜　日	水	時　限	3･4

担当教員	福井 竜一	実務者経験	2005年～2008年　フィットネスクラブ『ティップネス』 2012年～2015年『コナミスポーツクラブ』パーソナルトレーナー 2008年～　運動支援会社『Step Forward』フィジカルトレーナー

学習内容	運動生理学やトレーニングの方法、施設（マシン・器具）を実技で、傷害や栄養学等を講義で学ぶ。
到達目標	文部科学省が実施する体力テストを参照して、同年齢の各種目の全国平均値を上回る。

準備学習 時間外学習	自主的・定期的な基礎トレーニングの継続が望ましい。 体力テストの種目では、苦手・弱点種目の克服が望ましい。
使用教材	参考資料として、『ストレングス＆コンディショニング』（大修館書店）
留意点 備　考	講義の理解度をチームワークで実施、ペーパークイズの実施

成績評価	前・後期、各１回、体力試験100%で評価

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		講義と実技の迅速な切り替え	自己紹介/施設（マシン・器具）の使用方法の説明。　実技ースクワット・腕立て伏せ
2		〃	〃
3		効果的な実技の習得	講義ー有酸素運動・無酸素運動。実技ー肩甲骨の動き・骨盤の動き
4		〃	〃
5		チームワーク・規律	講義ーストレッチとトレーニングの順序　実技ー体力テストの種目
6		〃	〃
7		迅速な行動	体力テスト（腕立て伏せ・腹筋・懸垂・握力・垂直跳び・立ち幅跳び・背筋力等）
8		〃	〃
9		迅速な行動	体力テストのレビューとトレーニングの考案、目的に応じたトレーニング
10		〃	〃
11		思考・発案・表現	講義ートレーニングメニューの作成・発表・実施
12		〃	〃
13		考えながら身体を動かす	フリーウェイトトレーニングと体力テストへの準備
14		〃	〃
15		実技に活用する	体力テスト　実技（現場）へのフィードバック
16		〃	〃

科目名	解剖学・生理学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Anatomy･Physiology			総時間数	60	単　位	4
学　年	1	学　期	前期	曜　日	金	時　限	1･2

担当教員	村上秀明、西川悠里	実務者経験	村上秀明：大阪大学歯学部附属病院放射線科と医学部附属病院放射線治療科にて32年間の臨床経験。 西川悠里：大阪大学歯学部附属病院放射線科で5年間、医学部附属病院放射線治療科にて5年間の臨床経験。

学習内容	救急救命士となるにあたって必要な人体の解剖学と生理学を学ぶ。また、救急救命活動に必須となる人体の解剖学、救急救命処置の根源となる人体の生理学を習得する。
到達目標	人体の解剖学的諸構造と生理学的機能について、適切な解剖学用語と生理学用語を用いて具体的に説明できる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	オリジナルサブノート・救急救命士標準テキスト第11版・からだの地図帳
留意点 備　考	

成績評価	終講時の筆記試験で60%以上正解すること

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		人体を構成する要素	細胞・組織・臓器の構造と役割
2		人体を構成する要素	体液の組成と役割について学ぶ
3		体表からみる人体の構造	解剖学用語を学ぶ
4		体表からみる人体の構造	体表から観察される人体の構造を理解し、その名称を習得する
5		神経の解剖・生理	中枢神経について、その構造と役割について学ぶ
6		神経の解剖・生理	末梢神経について、その構造と役割について学ぶ
7		感覚器の解剖・生理	視覚器、聴覚器、平行感覚器について、その構造と役割を学ぶ
8		感覚器の解剖・生理	嗅覚器、味覚器、皮膚感覚器について、その構造と役割を学ぶ
9		呼吸器の解剖・生理	呼吸器の構成と役割を理解する
10		呼吸器の解剖・生理	呼吸調整のメカニズムを学ぶ
11		循環器の解剖・生理	循環器の構成と役割を理解する
12		循環器の解剖・生理	循環制御のメカニズムを学ぶ
13		消化器の解剖・生理	消化器の構成と役割を理解する
14		消化器の解剖・生理	栄養素の運搬と消化のメカニズムを学ぶ
15		泌尿器の解剖・生理	泌尿器の構成と役割を理解する
16		泌尿器の解剖・生理	尿生成のメカニズムを学ぶ
17		生殖器の解剖・生理	男性生殖器と女性生殖器の構造と役割を理解する
18		生殖器の解剖・生理	月経のメカニズムを学ぶ

19		内分泌系	内分泌器官の構造を学ぶ
20		内分泌系	各種ホルモンの作用部位と効果を学ぶ
21		血液と免疫	血液の組成、止血のメカニズムについて学ぶ
22		血液と免疫	アレルギーを含めた免疫システムについて学ぶ
23		骨、筋、関節	骨と筋の構造と名称を習得する
24		骨、筋、関節	関節と人体の役割について学ぶ
25		皮膚	皮膚の構造について学ぶ
26		皮膚	皮膚の役割について学ぶ
27		生命の維持	栄養と代謝などホメオスタシスに関わるメカニズムを学ぶ
28		生命の維持	呼吸、循環などホメオスタシスに関わるメカニズムを学ぶ
29		まとめとテスト	テストゼミ形式の復習、国家試験問題の解法を学ぶ
30		まとめとテスト	終講時のテストを行う

科目名	生化学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Biochemistry			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	前期	曜　日	木	時　限	1･2

担当教員	酒井　学	実務者経験	医学博士(生理系) 1973-2005まで大阪大学にて研究助手

学習内容	ヒトの生命現象を元素・分子レベルでの化学的領域と，細胞・個体レベルでの生物学的領域を統合的に幅広く学習する．それにより疾患の成立原因と回復過程を生化学的に理解し，救命救急士としての基礎的知識の習得を目指す．
到達目標	生命維持のための代謝、代謝異常(糖代謝異常，アミノ酸代謝異常，脂質代謝異常）とその疾患について理解できる。ビタミン異常，そのほか電解質異常，栄養障害など理解できる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	救急救命士標準テキスト　第11版
留意点 備　考	中間でミニテストの実施

成績評価	終講義試験

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		生化学とは	高校までの履修度を把握して、化学・生物に必要な事項の整理が出来る 化学・生物で使用する用語を知る
2		栄養障害	TCAサイクルを理解する(エネルギー産生ということで)
3		代謝障害	糖尿病、低血糖、メタボリックシンドロームの概念、ビタミンの異常など
4		体液と電解質異常	体液の組成が理解できる
5		酸塩基平衡異常	PHの基礎知識、アシドーシス・アルカローシス
6		内分泌異常 ミニテスト	ホルモンの合成場所と働きと病気について理解する
7		総まとめ	全体的に理解不足のところを解消する。
8		テスト	

科目名	病理学・法医学(病理学)			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Pathology･Forensic Medicine(Pathology)			総時間数	18	単　位	法医学とあわせて2
学　年	1	学　期	前期	曜　日	月	時　限	1･2

担当教員	酒井　学	実務者経験	平成18年8月1日から平成20年10月15日まで国立法人神戸大学医学部附属病院中央検査部、平成20年10月16日から現在まで国立法人大阪大学歯学部附属病院検査部にて臨床検査業務を担当している。令和5年4月1日から天理大学医療学部臨床検査学科所属、教育に携わっている。

学習内容	何が原因で病気が起こり、病気になている状態では身体の中ではどのような現象が起きているのかなどの病理学の基本的な知識を学習する
到達目標	臨床の現場において必須となる病理学の知識が習得できる

準備学習 時間外学習	病理学と共に解剖学と生理学の平行した学習が必要である。
使用教材	救急救命士標準テキスト　第11版
留意点 備　考	

成績評価	終講義テストを100%で評価する。

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		細胞傷害	細胞傷害の原因、細胞死の種類、適応反応
2			
3		先天異常	染色体異常の種類、原因
4		循環障害	循環障害の種類と原因、その影響など
5		炎症	炎症とは、炎症の種類、またその影響など
6		免疫異常とアレルギー	免疫とは、免疫の種類、アレルギー、自己免疫疾患について
7		腫瘍	腫瘍とは、通常細胞との違い、腫瘍の原因
8			
8.5		試験	

科目名	病理学・法医学(法医学)			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Forensic Medicine			総時間数	14	単　位	病理と合わせて1
学　年	1	学　期	前期	曜　日	水	時　限	3･4

担当教員	石田　季子	実務者経験	2016年4月－2022年3月 大阪大学法医学教室特任助教、大阪府監察医事務所監察医されていた。

学習内容	人体が死によってどのように変化するのか、原因ごとにどのような所見が見られるのかを学習する。また、死にまつわる公衆衛生的事項についても概説する。
到達目標	疾病や損傷などが人体の限界を超えて作用した、普遍的で不可逆で不可避な状態が死であるため、医療の場においてはいつでも遭遇しうる。法医学的知識の修得により、プロフェッショナルとして死者を遇することができるようになることが目標である。

準備学習 時間外学習	テキストを読んでおくこと。解剖学・救急医学などの復習がなされているとなおよい。
使用教材	救急救命士標準テキスト第11版、そのほかに適宜ハンドアウトを配布する。
留意点 備　考	科目の性質上講義資料や話題にセンシティヴな事柄が含まれるため、学生にも医療人としての倫理と守秘を求める。

成績評価	終講義試験により評価する。

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		死とはなにか	死の定義や統計に見られる死の状況を知り、現代日本における死とのかかわり方を学ぶ
2		死体現象	生体にはみられず、死体にのみみられる所見について学ぶ
3		内因性急死・中毒	疾病による死の中でも急死、薬毒物による中毒について学ぶ
4		損傷	人体が外部からの力を受けることで発生する傷害と、それにより引き起こされる結果を学ぶ
5		環境と死	温度変化など、周囲の環境による死や大規模災害による死について学ぶ
6		試験	
7		行政解剖	行政解剖見学

科目名	微生物学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Microbiology			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	月	時　限	3･4

担当教員	酒井　学	実務者経験	平成18年8月1日から平成20年10月15日まで国立法人神戸大学医学部附属病院中央検査部、平成20年10月16日から現在まで国立法人大阪大学歯学部附属病院検査部にて臨床検査業務を担当している。令和5年4月1日から天理大学医療学部臨床検査学科所属、教育に携わっている。

学習内容	感染症各論
到達目標	（願　い）感染症の病原体と症状を結び付けて理解する。

準備学習 時間外学習	授業毎に指導する。
使用教材	オリジナルプリント　救急救命士標準テキスト　11版
留意点 備　考	

成績評価	筆記テスト

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		微生物学①	微生物を学ぶ理由について
2		微生物学②	感染症について
3		微生物学③	感染経路と回復について
4		微生物学④	感染予防について
5		微生物学⑤	検査法について
6		微生物学⑥	感染症各論①
7		微生物学⑦	感染症各論②
8		試験	筆記試験

科目名	薬理学			必修/選択	必須	授業形式	講義
【英】	Pharmacology			総時間数	30	単　位	2
学　年	1（Aクラス、Bクラス）	学　期	後期	曜　日	火曜日	時　限	1,2

担当教員	岩木一巳	実務者経験	2011～2018年度　武庫川女子大学・薬学部非常勤講師 2014～2021年度　城南女子短期大学・現代生活学科非常勤講師 2014年度～　東洋医療専門学校・救急救命士学科非常勤講師

学習内容	薬理学とは薬物が身体に及ぼす影響（主作用・副作用）やその作用発現メカニズムを研究する学問であることを学ぶ。 救急救命士を目指す者として、取り扱いに関与する薬物のみならず、医療の分野で広く用いられる「薬」の知識を基礎から応用まで幅広く学習する。
到達目標	国家試験合格のレベルに留まらず、薬理作用、薬物療法についての一般的基礎知識を広く修得させ、救急現場で専門職としての実力を発揮できる救急救命士を育成する。

準備学習 時間外学習	事前および時間外の学習として、教本、資料概要プリント、補足説明資料等に目を通し、興味を持ったことや分からないところはインターネットや関連参考書を用いて調べる等、薬の作用に関する予習、復習を行うこと。
使用教材	テキスト（救急救命士標準テキスト第11版：へるす出版　第11版） 理解力向上のため、自作の講義概要プリント、補足説明資料、確認問題を配布。
留意点 備　考	必ず、毎回の授業後に確認問題を用いた理解度をきっちり自己評価すること、さらに、教本や配布資料を読み返して、授業内容を振り返ることが望ましい。また、必要に応じて、参考書（救急現場の救急医療：荘道社、新ステップアップ 救急救命士国家試験対策 薬理作用：へるす出版）にも目を通すこと。

成績評価	期末の筆記試験（資料持ち込み不可）で評価する。

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		薬物総論	薬理学と薬物、医薬品に関する説明、薬機法、薬理作用の発現様式、保存と保守管理
2		薬理作用の作用機序	薬物が作用を発揮する仕組み
3		薬物の剤型、体内濃度	薬物の投与剤型、薬物の血中濃度・体内濃度（薬物血中濃度時間曲線）
4		投与量と作用の関係、投与経路	用量作用関係（用量ー作用曲線）、投与経路、、各投与方法の利点と欠点
5		薬物の体内動態(1)	薬物動態（ADME）、吸収・分布・代謝・排泄の詳細
6		薬物の体内動態(2)	上記内容の続き、薬物動態の変動要因
7		薬物の有害作用(1)	薬物使用時の各種有害作用についての説明
8		薬物の有害作用(2)	反復投与に関係する問題点、研究開発段階で得られる有害情報
9		救急救命士が取扱に関与する薬物(1)	輸液・輸血製剤
10		救急救命士が取扱に関与する薬物(2)	アドレナリン、乳酸リンゲル液、ブドウ糖
11		アドレナリンと自律神経系用薬(1)	アドレナリンを中心としたカテコールアミンの作用
12		アドレナリンと自律神経系用薬(2)	自律神経系の働きと作用薬
13		注意を要する常用薬(1)	慢性疾患薬など注意を要する常用薬
14		注意を要する常用薬(2)	上記内容の続き
15		最終講義	講義内容全般（No.1～14）の振返り、重要ポイントの説明
16		期末試験	自習時間を設けた後に筆記試験（50分）を実施

科目名	公衆衛生学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Public Health			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	金	時　限	3･4

担当教員	谷　康平	実務者経験	

学習内容	健康の保持、予防医学の重要性を認識し公衆衛生分野について学ぶ。
到達目標	国家試験に出題される分野は勿論、救急救命士として必要な知識を習得できる。

準備学習 時間外学習	テキストの用語の読み方や意味を調べておく。重要なキーワードについてまとめてみる。 受講後に復習と自己学習をする。
使用教材	救急救命士標準テキスト第11版
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		公衆衛生とは	第42回国家試験について／保健統計・人口動態統計・死亡原因
2		感染症	感染症法・学校保健安全法
3		社会保障制度	医療保険 医療経済
4		〃	高齢者保健
5		〃	母子保健 栄養・食品保健
6		環境	4大公害 地球規模の環境問題
7		〃	国際保健 地域保健 疫学／予防医学
8			全体のまとめ と試験

科目名	社会保障・社会福祉			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Social Security･Social Welfare			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	火	時　限	3･4

担当教員	中川　るみ	実務者経験	社会福祉士　1993-現在あでソーシャルワーカーとして実務経験あり 社会福祉事務所所長

学習内容	社会福祉と医療、社会保障の関連について学ぶ 社会福祉の展開、低所得者対策、障害者福祉対策、年金制度について
到達目標	救急救命士に必要な社会福祉と医療、社会保障の関連について理解できる。

準備学習 時間外学習	授業で習ったことの復習をしておく。 重要なキーワードについてまとめていく。練習問題の実施。
使用教材	救急救命士標準テキスト第11版
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		社会保障について	各社会保険の種類（人口資料）
2		〃	〃
3		社会保険について	理念と仕組み等（いのち）
4		〃	〃
5		社会福祉について	制度と運用（ヘレン・ケラー）
6		〃	〃
7		まとめ	これまで習ったことの再確認
8		終講義試験	

科目名	救急医療　Ⅰ医学概論			必修/選択	必須	授業形式	講義
【英】	Emergency Medical Philosophy			総時間数	12	単　位	救急医療 すべてで3
学　年	1	学　期	前期	曜　日	期間中随時	時　限	3･4

担当教員	金村　諭司	実務者経験	29年の消防経験(H13.救急救命士)挿管・薬剤認定

学習内容	救急医学の本質・医学の発達、生命倫理と医の倫理などの基本的な考え方を学ぶ
到達目標	救急隊員としての社会的な責務について具題的に列挙できる。 日常的な業務について倫理的な意義を列挙できる。 業務の内容について傷病者・家族に分かりやすい説明が出来同意を得ることが出来る。

準備学習 時間外学習	講義で学んだことの復習及び重要キーワードについてまとめておく。
使用教材	救急救命士標準テキスト第11版、プリント資料
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		１．医学と歴史	学問の本質と医学、自然科学と人文科学、自然科学的思考、医学概論という学問、医療と医学の歴史的背景、医学の体系化、現代の医学系列、医療と病気
2		２．救急医療と救急医療体制	救急医療、救急医学とは、現代救急医療体制の概略、救急医療の対象、病院前救護とは、救急医療を医学的に保障するための構造、救命士業務の拡大と高度化、救命士の役割、救命士の責任など
3		３．医の倫理	医療者の倫理と生命倫理、医療者倫理の歴史、Ⅱ．生命倫理、医学進歩と生命倫理、「生活の質」と「生命の質」、人の死に関する倫理論議とLiving will、病院倫理規定と倫理委員会、厳格になったInformed Consent、終末期医療、尊厳死と安楽死、尊厳を保持した死を実施する場面について
4		症例について	救急医療汎用専門英語、スライドを見ながら症例について学ぶ
5		まとめ	テスト範囲の総まとめ
6		終講義試験	

科目名	救急医療　Ⅱ病院前救護			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Emergency Medical Treatment			総時間数	12	単　位	救急医療 すべてで3
学　年	1	学　期	後期	曜　日	火	時　限	3･4

担当教員	金村　諭司	実務者経験	29年の消防経験(H13.救急救命士)挿管・薬剤認定

学習内容	救急医療の意義や救急医療体制、災害医療、メディカルコントロール、プレホスピタルケアとは何かを理解する。
到達目標	・現在の救急医療体制について説明できる。・災害医療特有の救急活動、行動規範について学ぶ。・最新の救急蘇生法を習得する。 ・病院前救護、メディカルコントロールの考え方につき学ぶ。

準備学習 時間外学習	
使用教材	救急救命士標準テキスト第11版　プリントなど。
留意点 備　考	

成績評価	筆記試験

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		救急医療体制	病院前医療、令和元年度版　救急・救助の現況
2		救急医療体制	救急医療システム（一般、周産期、精神科、小児救急医療体制）、救急医療情報（救急医療情報センター、救急安心センター）
3		災害医療体制	災害の概念、多数傷病者に対する対応、トリアージについて
4		災害医療体制	災害に関連する法的骨格は、特殊災害とは
5		病院前医療体制	救命の連鎖、救急蘇生法（ガイドライン2015）について、メディカルコントロールとは
6		試験	終講義試験

科目名	救急医療　　Ⅲ救急活動の基本			必修/選択	必須	授業形式	講義
【英】	Emergency Medical Treatment			総時間数	12	単　位	救急医療 すべてで3
学　年	1	学　期	前期	曜　日	水	時　限	1･2･3･4

担当教員	金村　諭司		29年の消防経験(H13.救急救命士)挿管・薬剤認定

学習内容	救急救命士として、消防機関における救急活動の基本及び流れを学習する。
到達目標	救急救命士に関連する法令、救急救命士の役割や責任を理解した上で、通信指令室の役割や救急活動の流れを理解し説明できる知識を身につける。また、救急救命士としての生涯教育についても理解し説明できる知識を身につける。

準備学習 時間外学習	標準テキストの閲読と予習復習プリントの配布
使用教材	救急救命士　標準テキスト第11版　　PPT資料
留意点 備　考	

成績評価	五肢択一若しくは択二の問題25問の筆記試験で評価する。

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		消防機関における救急活動の流れ	救急業務とは何か。その定義、基本原則及び対象等を理解する。
2		消防機関における救急活動の流れ	救急活動の基本（覚知から帰署後の書類作成まで）を理解しイメージする。
3		救急救命士の役割と責任	救急救命士の役割と責任を理解しイメージする。
4		救急救命士に関連する法規	救急救命士に関する法規、消防関係法規等を理解し、消防の職務をイメージする。
5		救急救命士の養成と生涯教育	救急救命士の養成と生涯教育について理解しイメージするとともに、救急救命士の将来について考える。
6		まとめと試験	

科目名	救急医療　Ⅳ医用電子工学			必修/選択	必須	授業形式	講義
【英】	Medical Electronic Engineering			総時間数	12	単　位	救急医療 すべてで3
学　年	1	学　期	後期	曜　日	水	時　限	1･2

担当教員	山口　睦人	実務者経験	関西医科大学附属病院にて中央手術室を中心に集中治療部門、カテ室、内視鏡、血液浄化へ臨床工学技士として臨床業務、また医療機器安全管理者として、特定機能病院に必要な安全管理業務に従事している。

学習内容	救急分野で使用されるME機器の基本原理・基本操作・安全性について学ぶ
到達目標	救急救命士にとって必要な医療機器の知識を習得できる。

準備学習 時間外学習	講義で学んだことの復習
使用教材	プリント資料
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		AED、生体監視装置	除細動器（AED）、生体監視装置の使用法、事故事例紹介
2		AED、生体監視装置	〃
3		人工呼吸器	人工呼吸に必要なモニタリング（Spo2、血液ガス）、呼吸器概論
4		人工呼吸器	〃
5		総復習	総復習
6		試験	

科目名	処置			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Treatment			総時間数	32	単　位	2
学　年	1	学　期	後期	曜　日	期間中随時	時　限	1.2.3.4

担当教員	金村　諭司	実務者経験	29年の消防経験(H13.救急救命士)挿管・薬剤認定

学習内容	救急救命士標準テキストを丁寧に学習する。 テキストの内容について補足して解説する。 関連する話題を取り上げて解説する。
到達目標	①処置等の概念を理解する。②各処置について意義を理解する。 ③各処置について適応を的確に判断できる。④各処置を適切に実施できる。 ⑤各処置についてその効果を評価できる。 各種の処置について要点をとらえ、実践へのファーストステップとして理解する。 傷病者搬送の目的と意義を理解する。

準備学習 時間外学習	解剖･生理など既習の関連分野を復習する。　テキストの用語について調べておく。受講後に復習と自己学習をする。練習問題を解いて、テキストで確認する。
使用教材	救急救命士標準ﾃｷｽﾄ　第11版
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		静脈路確保	目的と適応、資器材と準備
2		静脈路確保	手順と手技、評価、合併症、留意点
3		薬剤投与	心停止時のアドレナリン投与 アナフィラキシーに対するアドレナリン投与
4		薬剤投与	血糖測定とブドウ糖溶液投与 心肺停止時と心肺停止前の乳酸リンゲル液投与
5		その他の処置	体位管理、体温管理
6		外傷に対する処置	止血、創傷処置
7		外傷に対する処置	固定処置（骨折・脱臼）
8		外傷に対する処置	固定処置（頸椎保護・全脊柱固定・ＫＥＤ・フレイルチェスト）
9		在宅療養者に対する処置	在宅酸素療法、在宅人工呼吸、気管切開、 植込み型ペースメーカー
10		在宅療養者に対する処置	経管栄養、中心静脈栄養カテーテル、血液透析、 腹膜透析、尿道カテーテル、人工肛門
11		救急救命士が行う処置	処置の目的と意義、気道確保・用手的気道確保・気道異物除去・口腔内吸引・デバイスを用いた気道確保
12		救急救命士が行う処置	〃
13		救急救命士が行う処置	搬送総論・搬送方法・搬送手順
14		救急救命士が行う処置	〃
15		救急救命士が行う処置	気管挿管、気管吸引、酸素投与の目的・方法・合併症・注意点など
16		救急救命士が行う処置	〃

17		救急救命士が行う処置	ヘリコプターへの搬入と搬出、事故車両からの救出方法
18		救急救命士が行う処置	〃
19		救急救命士が行う処置	人工呼吸、胸骨圧迫の目的・方法・合併症・注意点、徐細動など
20		救急救命士が行う処置	〃
21		まとめとテスト	質問に応じ、必要あれば補足説明を行ったのち、 筆記試験を実施する。

科目名	観察・判断			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Observation･Decision			総時間数	20	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	月火	時　限	1.2.3.4

担当教員	金村　諭司	実務者経験	32年の消防経験(H7.救急救命士)挿管・薬剤認定

学習内容	救急患者に対しての全身および局所の観察、緊急度重症度の判断とその対応を習得。
到達目標	適切な観察は、その後の適切な判断・処置には欠かせないものであり、それが重症度緊急度判断、病院選定、患者の予後に直接かかわってきます。適切な観察をするための方法とそれによって診られる徴候の意味が理解できることを目標とします。

準備学習 時間外学習	
使用教材	救急救命士標準テキスト第11版　及びプリント資料など
留意点 備　考	

成績評価	筆記試験

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		傷病者の観察	・観察の目的と意義、観察の方法・全身状態の観察
2		傷病者の観察	・バイタルサイン、外見、気道、呼吸、循環、神経の各所見とその意味について学習
3		傷病者の観察	・局所の観察
4		傷病者の観察	・皮膚、頭部・顔面・頸部、胸部、腹部、四肢の各所見とその意味について学習
5		傷病者の観察 重症度緊急度	・緊急度・重症度判断とその意義について学習
6		傷病者の観察 重症度緊急度	・緊急度・重症度判断とその意義について学習
7		傷病者の観察	・資器材による観察（・パルスオキシメーター　・カプノメーター　・聴診器　・血圧計　・心電図モニター　・体温計　・血糖測定器）
8		傷病者の観察	・資器材による観察（・パルスオキシメーター　・カプノメーター　・聴診器　・血圧計　・心電図モニター　・体温計　・血糖測定器）
9		まとめ	・まとめ（国家試験問題）
10		試験	・終講義試験

科目名	検査学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Clinical Examination			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	期間中随時	時　限	1･2

担当教員	朝日　佳代子 兒嶋　嵩 笹井　正思	実務者経験	朝日　佳代子 1994年4月～　大阪大学医学部附属病院　臨床検査部に所属 日常業務にて生理検査担当、当直業務にて輸血・血液検査経験 兒嶋　嵩 2013年4月～2015年3月 大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門に所属 2015年4月～現在　大阪大学医学部附属病院　高度救命救急センターにて救急検査業務に従事 笹井　正思 1990年7月より大阪大学歯学部附属病院歯科放射線科（2007年より放射線科）に勤務し放射線診療に従事、現在に至る。

学習内容	検査学における、生理機能検査・血液検査・輸血検査について基礎的な内容を学ぶ。 救急医療における各臨床検査項目の目的、種類、検査データの評価方法を学ぶ。 単純エックス線撮影法、CT検査法、MRI検査法、血管造影法（Digital Subtraction Angiography）、内視鏡、核医学検査といった各種画像診断法の原理と特徴、適応疾患につき、画像を供覧しながら解説する。
到達目標	生理機能・血液（止血）・輸血検査について基礎的な内容の理解。救急救命士国家試験に対応可能なレベルへの到達。 救急救命士標準テキストに記載されている各臨床検査項目の臨床的意義や検査データの診方を理解し、医療スタッフとの情報交換・救急医療に役立てる。 各種画像診断法の利点、欠点を説明できる。

準備学習 時間外学習	前期開講の「解剖学・生理学」の知識を前提に、各種画像ではどのように描出されるかを供覧する。
使用教材	救急救命士　標準テキスト　第11版　　出版社（へるす出版）、スライドによる講義・配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	選択式問題で評価

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		生理機能	心電図検査、肺機能検査、脳波検査について説明。 主な症例における心電図波形、肺機能検査における主な臨床評価を理解する。
2		検査学1	臨床検査総論・一般検査【各臨床検査の目的・種類と検査結果の見方、および一般検査について】 臨床検査の目的や種類、検査データの診方が理解できる。一般検査の種類や臨床的意義が理解できる。
3		検査学2	生化学・血液ガス検査【生化学検査の臨床的意義・基準範囲・パニック値、および血液ガス検査について】 主な生化学検査項目の臨床的意義、基準範囲、パニック値が理解できる。また、血液ガス検査における酸素化や換気、酸塩基平衡の基本的な診方が理解できる。
4		検査学3	微生物検査【微生物検査項目の臨床的意義や検査の流れについて】 微生物検査の臨床的意義、および医療従事者となるうえで知っておくべき主な病原微生物が理解できる。
5		血液	形態を含めた血液検査、止血検査について説明。 主な血液疾患と血液検査項目との関連について理解する。
6		輸血	輸血検査について説明。 血液型・輸血検査の判定方法、輸血副作用について理解する。
7		画像診断学	内容：単純X線撮影、CT、MRI、超音波、血管造影、内視鏡、核医学検査につき概説する 目標：各種画像検査法の特徴（利点、欠点）を説明できる。
8		試験	終講義試験

科目名	放射線医学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Radiology			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	月	時　限	1･2

担当教員	笹井　正思	実務者経験	1990年7月より大阪大学歯学部附属病院歯科放射線科（2007年より放射線科）に勤務、放射線診療に従事し現在に至る。

学習内容	臨床で用いられる電離放射線の基礎的事項と生物への影響、放射線防護等の一般的な放射線学的知識と、 それを基として放射線障害要救護者対応・緊急被曝医療を学ぶ
到達目標	放射線の一般的知識を基に、放射線事故時の区域管理・スクリーニング・除染処置等の対応と緊急被曝医療体制の概要を理解する

準備学習 時間外学習	放射線物理学に関しては原子の構造・電離作用等の物理学的知識を、放射線生物学に関しては生体中でのDNAの役割等の生物学的知識を、放射線影響学に関しては組織の構造等の解剖学知識を、各々要する。前期開講の当該科目関連事項の復習が望まれる
使用教材	救命救急士テキスト第11版（ヘルス出版）　　配布プリント
留意点 備　考	環境省が公開している「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料」の閲覧を推奨いたします

成績評価	期末試験で評価する

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		放射線医学概説 放射線の利用	内容：暮らしや産業のなかでの放射線利用を解説する。目標：放射線利用法から放射線の各種の性質を説明できる。放射線施設は多様で身近に存在し、救急活動現場となりうることを理解する。
2		放射線の基礎知識	内容：放射性壊変と、放射線の種類について学ぶため、原子模型や崩壊形式について解説する。 目標：放射線の種類、分類とその性質につき説明できる。
3		放射線物理学	内容：放射線の一般的性質について解説する。目標：放射線、放射能、放射性同位元素の意味を説明できる。放射線に関わる単位（ベクレル・グレイ・シーベルト）について説明できる。
4		放射線生物学	内容：放射線の生物学的影響の発現機序と効果、放射線感受性について解説する。 目標：確率的影響と確定的影響（組織反応）の差異を説明できる。
5		放射線被曝と防護	内容：ICRPによる放射線防護の基本的な考え方を解説する。目標：対象者による被曝の区分（職業被曝・公衆被曝、医療被曝）、各種被曝様式（内部被曝と外部被曝）について説明できる。
6		放射線事故時の対応	内容：一連の放射線事故対応尾（線量測定、汚染拡大防止、区域管理）について解説する。 目標：時間、距離、遮蔽等の外部被曝への防護法と、区域管理の要点を説明できる。
7		緊急被曝医療体制 まとめ	内容：被曝事故傷病者に関わる一般的事項と緊急被曝医療体制について解説する。 目標：重度の被爆に関連して傷病者に現れうる症状等について、説明できる。
8		試験	後期試験

科目名	シミュレーション実習Ⅰ			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Simulation Training			総時間数	316	単　位	7
学　年	1	学　期	通年	曜　日	期間中随時	時　限	1･2･3･4

担当教員	喜代平　要一 金村　諭司	実務者経験	29年の消防経験(H13.救急救命士)挿管・薬剤認定 32年の消防経験(H7.救急救命士)挿管・薬剤認定

学習内容	救急救命士に必要な基礎を学ぶ。
到達目標	救急救命士に必要な基礎を学び、想定訓練に繋げれるようになる。

準備学習 時間外学習	実技を各自で行う。
使用教材	救急救命士　標準テキスト　第11版　　出版社（へるす出版）、配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	BLS、救急救命処置Ⅰは試験を行う。

回	月日	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1		規律訓練	横隊編成･停止間訓練
2		規律訓練	横隊編成･停止間訓練
3		規律訓練	横隊編成･停止間訓練
4		規律訓練	横隊編成･停止間訓練
5		被覆固定	三角巾･シーネ
6		被覆固定	三角巾･シーネ
7		規律訓練	各個訓練･行進間
8		規律訓練	各個訓練･行進間
9		ロープ	本結び･もやい結び･巻き結び 座席結び･コイル巻きもやい結び
10		ロープ	本結び･もやい結び･巻き結び 座席結び･コイル巻きもやい結び
11		BLS	BLS概要説明
12		BLS	BLS概要説明
13		BLS	人工呼吸･胸骨圧迫
14		BLS	人工呼吸･胸骨圧迫
15		BLS	心肺蘇生法(AEDなし)
16		BLS	心肺蘇生法(AEDなし)
17		規律訓練	各個訓練･行進間
18		規律訓練	各個訓練･行進間

19		止血	H29あり方検討会報告書による 止血講習（面談）
20		止血	H29あり方検討会報告書による 止血講習（面談）
21		BLS	小児・乳児・異物除去（面談）
22		BLS	小児・乳児・異物除去（面談）
23		復習	BLS・被覆・ロープ
24		復習	BLS・被覆・ロープ
25		被覆固定	三角巾・シーネ
26		被覆固定	三角巾・シーネ
27		リバーレスキュー	リバーレスキュー実技
28		リバーレスキュー	リバーレスキュー実技
29		リバーレスキュー	リバーレスキュー実技
30		リバーレスキュー	リバーレスキュー実技
31		活動流れ	初期評価の概要 初期評価トレーニング
32		活動流れ	初期評価の概要 初期評価トレーニング
33		活動流れ	初期評価の概要 意識
34		活動流れ	初期評価の概要 意識
35		活動流れ	バイタルサイン
36		活動流れ	バイタルサイン
37		活動流れ	バイタルサイン
38		活動流れ	バイタルサイン
39		BLS	ポケットマスク
40		BLS	ポケットマスク
41		活動流れ	傷病者搬送 徒手・布・イーバック・メイン
42		活動流れ	傷病者搬送 徒手・布・イーバック・メイン
43		復習	査閲訓練 （ロープ・救急活動・BLS）
44		復習	査閲訓練 （ロープ・救急活動・BLS）
45		ロープ	本結び・もやい結び・巻き結び 座席結び・コイル巻きもやい結び
46		ロープ	本結び・もやい結び・巻き結び 座席結び・コイル巻きもやい結び
47		活動流れ	出動訓練5症例
48		活動流れ	出動訓練5症例
49		BLS	人工呼吸・胸骨圧迫
50		BLS	人工呼吸・胸骨圧迫

51		酸素投与	酸素投与・ボンベの確認方法
52		酸素投与	酸素投与・ボンベの確認方法
53		呼吸音	聴診方法、異常呼吸音について
54		呼吸音	聴診方法、異常呼吸音について
55		傷病者搬送	体位・車内収容要領・各種搬送器具
56		傷病者搬送	体位・車内収容要領・各種搬送器具
57		処置	気道確保・BVMによる人工呼吸
58		処置	気道確保・BVMによる人工呼吸
59		処置	気道確保・BVMによる人工呼吸
60		処置	気道確保・BVMによる人工呼吸
61		処置	気道確保・BVMによる人工呼吸
62		処置	気道確保・BVMによる人工呼吸
63		処置	エアウェイ含めた気道確保 BVMによる人工呼吸
64		処置	エアウェイ含めた気道確保 BVMによる人工呼吸
65		BLS	救命講習の概要説明 普通救命講習Ⅰ
66		BLS	救命講習の概要説明 普通救命講習Ⅰ
67		活動流れ	出動訓練5症例
68		活動流れ	出動訓練5症例
69		BLS	普通救命講習Ⅰ
70		BLS	普通救命講習Ⅰ
71		BLS	BLSテスト
72		BLS	BLSテスト
73		異物除去	異物除去
74		異物除去	異物除去
75		異物除去	異物除去
76		異物除去	異物除去
77		心電図	心電図
78		心電図	心電図
79		心電図	除細動／吸引器取扱い
80		心電図	除細動／吸引器取扱い
81		自動心マ	自動心マ取扱い
82		自動心マ	自動心マ取扱い

83		復習	復習①
84		復習	復習①
85		復習	復習①
86		復習	復習①
87		自動心マ	自動心マ取扱い
88		自動心マ	自動心マ取扱い
89		復習	初期評価・トリアージ
90		復習	初期評価・トリアージ
91		観察	情報収集・ファーストコール 観察
92		観察	情報収集・ファーストコール 観察
93		観察	観察（腹痛／吐血・喀血）
94		観察	観察（腹痛／吐血・喀血）
95		観察	観察（下痢／下血・不正性器出血）
96		観察	観察（下痢／下血・不正性器出血）
97		復習	初期評価・トリアージ
98		復習	初期評価・トリアージ
99		観察	腰痛・血尿・側腹部痛
100		観察	腰痛・血尿・側腹部痛
101		観察	背部痛・胸痛
102		観察	背部痛・胸痛
103		観察	めまい・ふらつき・しびれ・麻痺
104		観察	めまい・ふらつき・しびれ・麻痺
105		観察	背部痛・胸痛
106		観察	背部痛・胸痛
107		観察	痙攣・頭痛
108		観察	痙攣・頭痛
109		観察	呼吸困難・動悸
110		観察	呼吸困難・動悸
111		観察	JPTEC座学
112		観察	JPTEC座学
113		観察	全身固定要領
114		観察	全身固定要領

115		観察	外傷症例
116		観察	外傷症例
117		観察	緊急処置
118		観察	緊急処置
119		観察	緊急処置
120		観察	緊急処置
121		観察	集団災害要領
122		観察	集団災害要領
123		観察	献血概要・外傷パターン・各種観察
124		観察	献血概要・外傷パターン・各種観察
125		観察	外傷症例
126		観察	外傷症例
127		観察	接遇・症例
128		観察	接遇・症例
129		観察	接遇・症例
130		観察	接遇・症例
131		観察	救急出動訓練（症例付与）
132		観察	救急出動訓練（症例付与）
133		観察	外傷処置訓練
134		観察	救急救命処置Ⅰテスト
135		まとめ	1年総まとめ